



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	115,076	27.7	6,769	52.7	6,829	21.9	4,808	21.2
27年3月期第2四半期	90,104	△0.4	4,432	7.6	5,602	7.5	3,968	184.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,822百万円 (△33.1%) 27年3月期第2四半期 7,211百万円 (6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	23.04	—
27年3月期第2四半期	18.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	283,253	159,342	55.2
27年3月期	283,439	156,580	54.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 156,447百万円 27年3月期 154,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	17.6	11,000	△4.7	11,800	△17.6	9,200	△11.5	43.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	214,879,975株	27年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	8,411,398株	27年3月期	5,710,849株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	208,716,874株	27年3月期2Q	209,194,385株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績の中、所得・雇用環境は改善されましたが、中国経済の減速等により輸出や鉱工業生産の減少傾向が見られ、景気の回復傾向にも停滞感が生じています。世界経済は、米国が雇用環境の改善を背景にして個人消費を中心に好調に推移しているものの、中国経済や資源価格低下の影響を受ける新興国の景気下振れへの警戒感もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は115,076百万円と前年同期比27.7%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比1,227百万円増加の6,829百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比840百万円増加の4,808百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、住宅向け需要が回復基調にあり、出荷が増加しましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内では主に軽自動車向けの需要が減少したものの、新車販売が好調な北米市場の需要増加に加え、前年11月に米国Guardian Industries Corp.より買収をした子会社2社の売上寄与や円安の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品の出荷量減少により、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は74,765百万円(前年同期比47.1%増)となりましたが、損益につきましては537百万円の営業損失(前年同期比541百万円の悪化)となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、ソーダ灰関連製品の生産停止により、出荷量が減少しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、リチウムイオン電池用電解液製品の販売は減少しましたが、半導体市況の好調を受けて特殊ガス関連製品の販売が増加したことや、医薬関連製品の出荷も堅調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、省力肥料を中心に消費増税後の出荷減少から需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、電子材料向けや自動車用途向けの出荷が堅調に推移しましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は40,310百万円(前年同期比2.7%増)となり、損益につきましては7,302百万円の営業利益(前年同期比2,871百万円の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は283,253百万円となり、平成27年3月末に比較しまして186百万円減少しました。主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少などにより、流動資産が5,057百万円減少したことによるものです。

負債は123,910百万円となり、2,948百万円減少しました。

純資産は159,342百万円となり、自己資本比率は、0.8%増加し55.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、平成27年3月末に比較し、1,058百万円増加の20,211百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより、12,617百万円(前年同期比8,799百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、11,409百万円(前年同期比4,744百万円の増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出などにより、437百万円(前年同期比1,202百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、平成27年5月11日に公表いたしました通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,676	20,925
受取手形及び売掛金	50,456	45,026
商品及び製品	28,181	28,438
仕掛品	2,982	2,955
原材料及び貯蔵品	14,045	15,588
その他	10,006	7,193
貸倒引当金	△292	△128
流動資産合計	125,056	119,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,403	24,981
機械装置及び運搬具(純額)	36,087	38,461
土地	25,121	25,169
建設仮勘定	5,609	9,066
その他(純額)	2,985	3,270
有形固定資産合計	94,208	100,950
無形固定資産		
のれん	163	140
その他	1,242	1,484
無形固定資産合計	1,406	1,625
投資その他の資産		
投資有価証券	54,846	54,159
その他	8,274	6,901
貸倒引当金	△352	△382
投資その他の資産合計	62,768	60,678
固定資産合計	158,383	163,253
資産合計	283,439	283,253

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,467	20,229
短期借入金	24,392	27,349
未払法人税等	1,954	1,944
賞与引当金	1,424	1,435
その他	23,540	21,522
流動負債合計	73,778	72,482
固定負債		
社債	20,400	20,400
長期借入金	11,168	10,386
役員退職慰労引当金	17	13
特別修繕引当金	3,780	4,116
事業構造改善引当金	4,039	3,933
環境対策引当金	146	145
退職給付に係る負債	7,429	7,425
その他	6,097	5,005
固定負債合計	53,080	51,428
負債合計	126,859	123,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	106,729	110,404
自己株式	△2,865	△4,369
株主資本合計	130,149	132,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,681	20,928
繰延ヘッジ損益	△423	△325
為替換算調整勘定	2,736	3,265
退職給付に係る調整累計額	173	258
その他の包括利益累計額合計	24,167	24,126
非支配株主持分	2,263	2,895
純資産合計	156,580	159,342
負債純資産合計	283,439	283,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	90,104	115,076
売上原価	68,859	90,692
売上総利益	21,245	24,384
販売費及び一般管理費	16,813	17,614
営業利益	4,432	6,769
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	405	432
持分法による投資利益	44	86
為替差益	549	54
受取賃貸料	292	284
その他	783	398
営業外収益合計	2,087	1,268
営業外費用		
支払利息	195	208
製造休止損失	272	270
固定資産廃棄損	186	331
その他	262	398
営業外費用合計	917	1,208
経常利益	5,602	6,829
特別利益		
固定資産売却益	17	18
特別利益合計	17	18
税金等調整前四半期純利益	5,619	6,848
法人税等	1,543	2,062
四半期純利益	4,076	4,786
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	107	△22
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,968	4,808

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
四半期純利益	4,076	4,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,967	△712
繰延ヘッジ損益	8	98
為替換算調整勘定	△848	525
退職給付に係る調整額	114	84
持分法適用会社に対する持分相当額	△105	39
その他の包括利益合計	3,135	36
四半期包括利益	7,211	4,822
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,154	4,767
非支配株主に係る四半期包括利益	57	55

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,619	6,848
減価償却費	4,322	5,341
のれん償却額	25	28
引当金の増減額(△は減少)	△17	245
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	654	124
受取利息及び受取配当金	△416	△444
支払利息	195	208
持分法による投資損益(△は益)	△44	△86
固定資産売却損益(△は益)	△16	△28
固定資産廃棄損	186	331
売上債権の増減額(△は増加)	1,424	5,399
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,672	△550
仕入債務の増減額(△は減少)	614	△2,077
未払消費税等の増減額(△は減少)	△100	△976
未払費用の増減額(△は減少)	△1,895	△2,317
その他	△917	2,154
小計	5,961	14,201
利息及び配当金の受取額	416	569
利息の支払額	△212	△221
法人税等の支払額	△2,348	△1,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,818	12,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△94	△319
定期預金の払戻による収入	162	147
有形固定資産の取得による支出	△4,212	△9,863
有形固定資産の売却による収入	28	36
投資有価証券の取得による支出	△1,999	△1,096
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	200
その他	△548	△513
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,664	△11,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	855	3,059
長期借入れによる収入	—	568
長期借入金の返済による支出	△1,837	△1,582
自己株式の取得による支出	△2	△1,504
配当金の支払額	△836	△1,045
非支配株主への配当金の支払額	△61	△77
非支配株主からの払込みによる収入	248	146
その他	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,639	△437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△123	102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,609	873
現金及び現金同等物の期首残高	20,374	19,153
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	184
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,764	20,211

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,843	39,261	90,104	—	90,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	1,125	1,134	△1,134	—
計	50,852	40,386	91,239	△1,134	90,104
セグメント利益(営業利益)	3	4,431	4,435	△3	4,432

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,765	40,310	115,076	—	115,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	675	682	△682	—
計	74,772	40,986	115,759	△682	115,076
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△537	7,302	6,765	4	6,769

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。